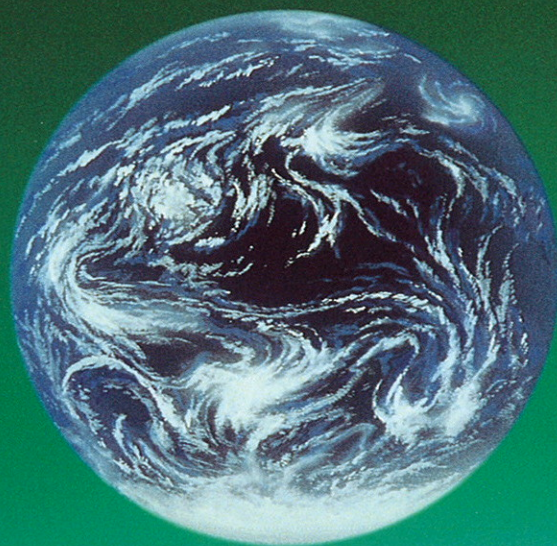


ACE CENTER 21

21世紀の地球を見つめる



土質改良プラント

掘削発生土 改良土のご案内



株式会社 エースセンター21

掘削発生土の再利用 高品質の改良土を生成します。

莫大な量の掘削発生土は処分コストの上昇や、不法投棄などによる環境破壊が深刻な社会問題とされてきました。また、掘削後の埋戻し材となる山砂の採取も遠隔化し、品質の低下や価格の上昇、輸送に伴う交通公害など数々の問題点を抱えていました。この建設工事にともなう発生土を、埋戻し材や基礎材、築堤材などとして利用できるよう、高品質の改良土に再生。まさに、時代の要請に応える画期的な改良土生成プラントです。



プラント設備全景





プラント投入口

搬入された掘削土が、プラントに投入されます。



生石灰サイロ (マスターズ563)

掘削土に改良材を加えます。



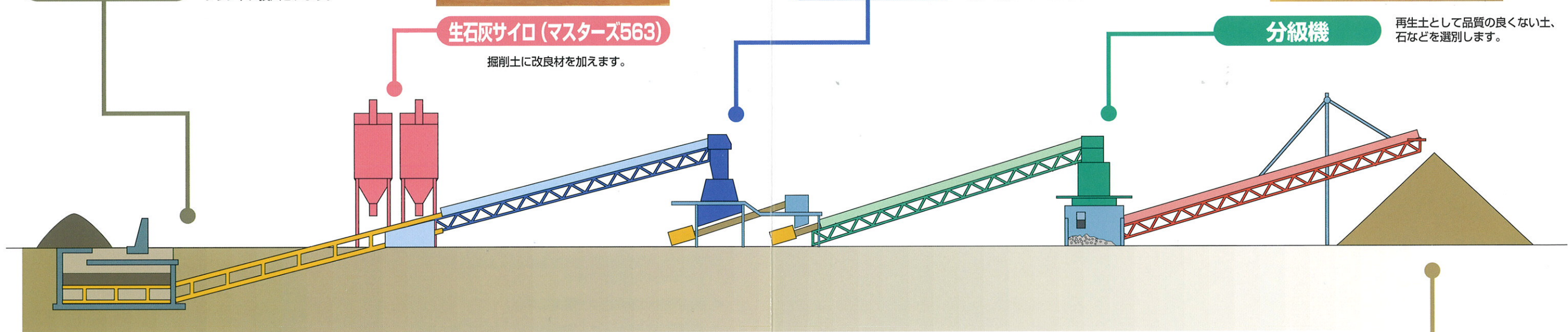
混合解砕機

掘削土に改良材を混合しながら、細かく砕いていきます。



分級機

再生土として品質の良くない土、石などを選別します。



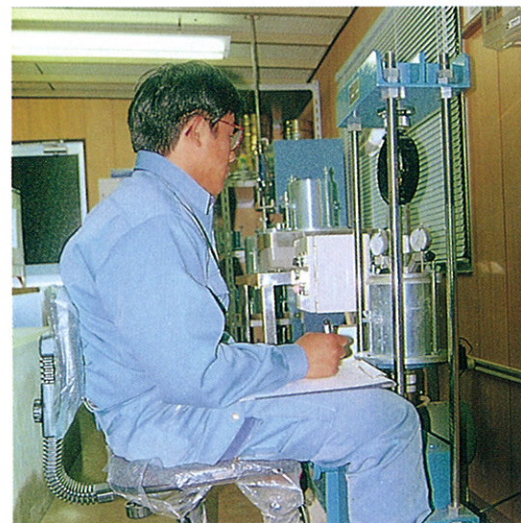
試験室

生成された改良土の試験などを行い、品質の管理を行います。



CBR試験

改良土の品質基準であるCBR値の検査を行っています。



安全監視カメラ

安全管理には充分な配慮を行っております。

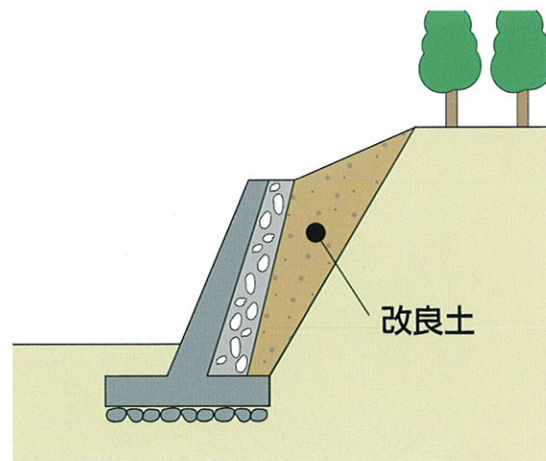
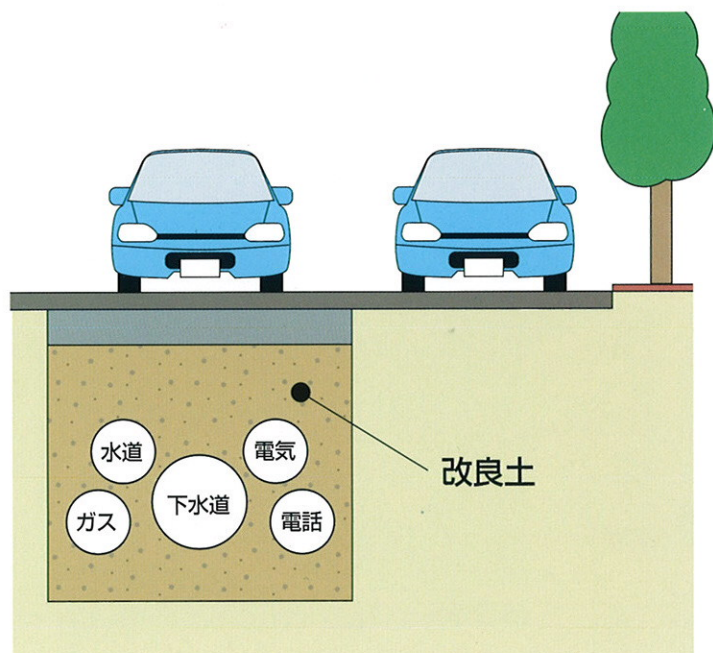


改良土生成

生成された高品質の改良土は、各種試験後、出荷されます。



改良土の主な用途



●改良土



土質改良システムの特長

1. 残土の発生量が非常に少なくなる。

二次的効果

1. 不法投棄が無くなる。
2. 残土処分費が無くなり経済的である。
3. 残土処分地がある場合処分地の延命化をはかれる。

2. 省資源・省エネルギー

空車で走る場合が少なくなる。

3. 改良材の添加量を変化させることにより、 いろいろな製品ができる。

4. 発生残土の処分方法が明確になる。

5. 品質はコンピューター管理のため、常に安定した 製品の生成が可能。

残土処理可能な成分
再生残土の品質

含水比 130%以下
粒度 40mm以下
CBR値 8~20%

生産能力
ストック能力

150m³/h
改良土 8000m³
原料土 4000m³

敷地面積

15,000m² (約5,000坪)

改良土の特長

1. ダンプカーからの荷おろし時の流動性は極めて高く埋設物周囲への回り込み良好。
2. 埋戻し用砂と同様の方法で締固めることができ、転圧は極めて容易。
3. 仮置の際に雨に濡れても水の抜けが早く、強度低下がない。
4. 腐食性・毒性がない。



株式会社 エースセンター21

本 社:岡山市玉柏75 〒701-21
TEL 086-229-2316 FAX 086-229-3175
工 場:岡山市金山寺603-1 〒701-21
TEL 086-228-2080 FAX 086-228-2081

